主題名　我慢する心（5年）　　資料名　「流行おくれ」

・内容項目1－（1）思慮・節制
生活を振り返り、節度を守り節制に心掛ける。

・資料の分析
・本資料は、二つの場面から構成されている。
①友達の話を聞き、新しいジーンズがほしくなった真由美は、母にねだるが断られる。
②腹を立てながら部屋に戻った真由美は、自分の机で本を探す弟を見て怒る。弟からほしい本を我慢して友達から借りたことを聞き、真弓は落ち着かない気分になる。
・真由美と同じような経験は１度や 2 度はどの子にもあるはずなので、真由美の気持ちに共感しやすい資料である。

・児童の実態
・おおよその基本的生活習慣は、身についている。
・つい調子に乗りすぎてしまい、度を越した行動をしてしまう子がいる。・者を粗末にしたり、人が持っているからと必要のないものまで手に入れようとしたりする子がいる。
・しなければいけないことはわかっているが、その場の雰囲気に流されてしまうことが多い。
・意識の要因
・友達も持っているなど他人と比較して物をほしがってしまう。
・度を越してはいけないと、頭ではわかっているが、つい調子にのって失敗したり後悔したりする。

・価値の分析
・人は、ともすると感情や衝動のままに行動したり、わがままな行為をしたりすることがある。子供たちは、高学年になり、感情だけで行動してはいけないということは理解している。しかし、周りの雰囲気に流され、自分をコントロールできなくなり失敗してしまうことが多い。節度・節制を心掛けることは、自分のよさを伸ばすことでもあり、自ら節度・節制に心掛けることの大切さに気づかせていきたい。

・ねらい
・新しいジーパンをほしがる真由美の気持ちや、弟の言葉を聞いて自分の部屋を見渡しながら落ち着かない気分になってく真由美の気持ちを考えることを通して、節度や節制に心掛け、自らの生活をよりよくしていこうとする態度を育てる。

・展開の構想
・ほしいものがあるときどうするか考える。
・新しいジーパンをほしがる真由美をどう思うか考え、なぜそう思うかを考えることで、節度ある行動とはどうすることなのかということに気づかせていきたい。

・基本発問
・新しいジーパンをほしがる真由美をどう思うか。
・なぜそう思ったのか。
・部屋を見渡して落ち着かなくなったのは、どうしてだと思うか。
・もっと考えて行動すればよかったと思った経験はあるか。